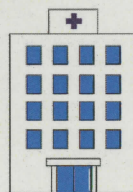


南那須地域医療を守る会ニュース

No 9
2016.10.1
代表 本間真二郎
0287-82-2781



みなさんの「真心」が「形」に 3 診療所に医療機器など寄附

当会は、会員になって頂いた皆さまの会費で運営され、これまで講演会や映画会等の実施や会報の発行を行ってきましたが、今年度は新たに3つの診療所に医療機器などを寄附することができました。これも毎年多くの方が会員になっていただけのお陰と感謝しております。

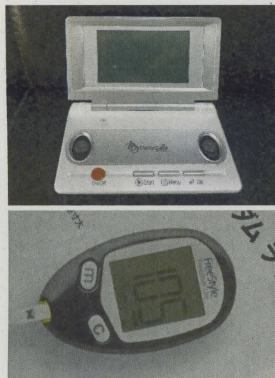
それぞれの診療所に希望のものをお伺いし、七合診療所には「インフルエンザ等測定機器」、熊田診療所には「車イス」「血圧計」「ベッドサイドレール」、境診療所には「ポータブル心電計」「簡易血糖測定器」を寄附いたしました。これからも地域の方々の健康づくりに少しでも貢献できる活動ができればと考えています。ご意見、ご要望などありましたら是非当会までお寄せ下さい。

「南那須地域医療を守る会」の活動にご支援・ご協力をお願い致します。

まだまだ不十分ですが、会員になられた方々の会費で、会の活動は支えられています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。なお今年度より郵便振込でも会員手続きが出来るようになりましたので、どうぞご利用下さい。

随時、会員を募集しています。

年会費 **1,000円**



←境診療所へ心電計と血糖測定器



↑熊田診療所へ車椅子と血圧計
ベッドサイドレール



↑七合診療所へインフルエンザ等測定機器

● 第7回定期総会開催

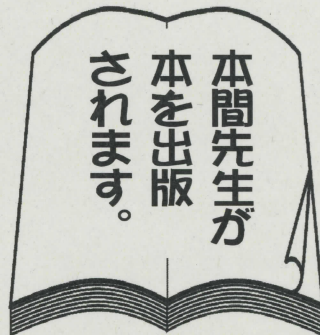
第7回定期総会が、6月19日烏山公民館で開催され、活動・決算の報告と活動計画、予算案が提案され、それぞれ承認されました。

なお今総会で、当会の設立に尽力され、長きにわたり七合診療所長として勤務し地域医療に貢献された米山正人氏が退任し、現七合診療所の本間真二郎氏が新しい代表として、正式に承認されました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



私こと米山正人はこの度地域医療まもる会代表を辞任いたしました。これまで会員の皆様のご協力と各委員の真摯な努力により会を運営することができました。心から感謝の気持ちで一杯です。ありが

本間先生が
本を出版
されます。



『自然派医師が教える
すべてを癒す生き方』
(仮題・株)セブン&アイ出版
玉石混濁の情報が氾濫している現代ですが、農・食・医・生活・環境などあらゆる方面にわたって、本間先生が考える健康的な生き方、病気になるらない暮らし方が、総論(100ページ)・各論(100項目)合わせて約300ページの中に、ギュッと詰め込まれています。11月ころに出版予定です。ご期待ください。

とうございました。
今後も住民の支援の声を
当地の地域医療の核である
那須南病院と共に活動して
頂きたいと思っております。
今後は、一会員として関わ
っていきたいと思っております。

会の活動いろいろ

那須南病院ボランティア

● デイケアのお手伝い

会員8名が毎月第2・第4水曜日、木曜日に分かれ、デイケアのお手伝いをしていきます。

病室から車椅子に乗った患者さんとデイルームまでお連れしたり、名前を聞いて名札を胸につけてあげたりします。看護師さんが中心になりゲームや作品作りをして楽しみますが、そのお手伝いをします。自己紹介の時下を向いていて声もださなかった患者Yさんが一時間楽しんだ後は、顔を上げて笑っている様子見ると本当にお手伝いをして良かったなと思うひとときです。

● 七夕の会でフラダンス

7月6日、那須南病院で開催された七夕の会に、レイ・プルメリアの皆さんが参加協力いたしました。レイ・プルメリアの



皆さんはカラフルな衣装を身に付けて、「瀬戸の花嫁」等の馴染みのある曲や南国系の音楽に合わせて、見事なフラダンスを披露していただきました。

見学に来られた患者さんは、ゆったりと、またときには機敏な動きをするフラダンスに見入っていました。

● 敬老会で民謡や尺八演奏

9月15日、那須南病院で開催された敬老会に、烏山紙すき唄保存会の皆さんが参加協力いたしました。



当日は「ちやつきり節」や「花笠音頭」などの民謡演奏や踊りを披露していただきました。唄ばかりでなく、尺八や三味線を用いられた力強い演奏と、鮮やかな袴と笠を身にまとった優雅な踊りは、とても素晴らしいものでした。患者さんも、演奏や踊りに合せて手拍子を打つなど、楽しいひと時を過ごしました。

● 病院内作品展示企画

病院内展示は、各種団体、個人のご協力を頂き6年目を迎えます。「待ち時間を楽しませて頂いてます。」「来月は何が展示されるのですか?」など皆様の声と共に「作品が集まっています。」と団体からの電話も頂けるようになりました。皆様の心温まる作品を是非展示させていただきます。



● 病院周辺清掃活動

6月19日(日)の朝7時より、那須南病院周辺の草むしりと清掃活動を実施いたしました。本年度は都合により1回だけの実施となりました。来年度もよろしく願っています。



参加してきました

6月5日、南那須医師会が主催したドキュメンタリー映画「いきたひ」家族で看取る」上映と同映画監督の長谷川裕子氏の講演会が、那珂川町のあじさいホールで開催されました。



300人を越す地域医療、看護、介護関係者や住民の参加があり、家族の看取りや自分の生き方と終末についての関心の高さが伺えました。

看取りで救われるのは、看取った本人だろうという、監督の語り口に皆さん納得されたように聞いていました。

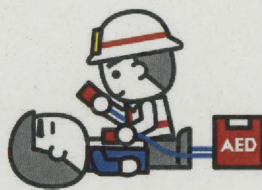
看取りを含め、在宅医療、看護、介護の充実が地域住民の大きな課題であり、当会でも様々な発信してきたところで、これからも地域医療の充実に住民の立場でサポートできることを続けることが大切だと再認識した時間でした。



関係するこれからの活動

● 福祉まつりでAED講習会

10月15日：那珂川町
11月6日：那須烏山市
今年も消防署・救急救命士の方の協力で心肺蘇生法とAEDの講習会を開催します。両日とも10時半頃より講習会を行います。どなたでも体験ができますので、どうぞご参加ください。



● 南那須医師会主催の講演会

11月13日(日)1時30分
烏山公民館
演題：「最後まで目一杯生きる」

講師：萬田緑平氏(緩和ケア診療所・いっぽ)

● 来年2月12日(日)に講演会

国際医療福祉大学副院長の柴信行先生に循環器疾患の講演をして頂く予定です。詳細はあらためて告知いたします(10時・烏山公民館の予定)。